

平成28年度 第1回津奈木町総合教育会議録

- 1 期 日 平成28年11月24日(木) 開会 午後3時00分
閉会 午後4時20分
- 2 場 所 津奈木町役場2階会議室
- 3 出席者(6名)
津奈木町長 西川裕、教育長 塩山一之、
教育委員長 福田征起、委員 寺床浩治、同 林田雄二、同 雑賀優美
- 4 欠席者
なし
- 5 出席事務局職員
教育課長 椎葉正盛、総務課長 林田三洋、総務課 村上泰央
- 6 出席を要請し、出席した者
副町長 山田豊隆
- 7 傍聴者
なし
- 8 議 題
(1) 学校教育について
(2) 生涯学習について
(3) その他
- 9 審議内容
 - 総務課長) 只今から平成28年度第1回総合教育会議を開会します。
先ず始に町長からご挨拶をお願いします。
 - 町 長) 皆さんこんにちは。日頃から教育行政について、委員の皆さまには協力いただきありがとうございます。
一連の教育改革の中で、今回法改正により教育長が特別職となり、任期3年に変更となりました。また、これまでも予算編成は町長部局で行っておいりましたが、教育行政の事業についても、首長も関わって行くようにという事で、この総合教育会議が開かれるようになりました。
中学校では、天草で開催された中体連駅伝競走大会の県大会の様子が、昨日テレビで放映され拝見しました。皆が力を合わせて良く頑張ってくれ、これまでの最高順位を獲得する事ができました。これは、選手のみでなく、応援を含め学校全体が頑張っていたという印象を受けました。特に福山さんは1区で区間賞という事ですばらしい走りをしてくれました。
教育長の話しによりますと、英語暗唱大会では、管内の代表として県大会にも出場するなど、学業面でも頑張っているということで、何も言うことがありません。

ただ、最近では町内で子どもが生まれないという状況です。母子手帳を発行している人数からすると、複式学級になることが心配されます。今、本町では教育以前の問題で、如何に子どもを生んでもらうかという事が津奈木町の課題となっております。生まれた子ども達のためには、我々も立派な人材を育てるために文武共に応援していきたいと考えています。

今回の中学生の頑張りを受けて、今度の補正で20万円の予算を計上しておりますが、これはスポーツ関係だけでなく学校全体として必要な物に使ってほしいと思います。

私事ではありますが、家内が10月1日から九州国際大学の学長に就任しました。私立大学の特徴かもしれませんが、どうしても東京、名古屋、大阪、福岡などの都市部に大学も集中し、都会志向が強いようであり、そういう面で地方の大学は厳しい状況です。どのように特徴を出して行くかという事が大事になってくると思います。

奨学金制度についても、一般質問で出ておりましたが、支給される時期が6月以降であり、親御さんとしては、3月中にお金が必要となるので、もっと早く支給してもらいたいということです。改革ができるのであれば行っていただければありがたいと思います。

また、大会出場への補助についてですが、これは津奈木小学校や中学校を代表する、又は本町に住民票があつて高校等で総体や国体へ出場するなどといった方に出していますが、最近ではクラブチームで地区優勝し、どこかでクラブの(九州・全国)大会に出場するという事が出てきているので、その辺を明確化しないと何もかもというようになってくるので、公的な大会であるとか学校に関係するものといった、しっかりとした基準を、教育委員会とも話し合つて作りたいと思っております。

大変お世話になりますけども、よろしく申し上げます。

- 総務課長) ありがとうございます。それでは、議題に移らせていただきます。議事進行は、町長にお願いしたいと思います。
- 町 長) それでは、「学校教育について」を議題とします。
- 教育長) その前に、学校教育も生涯学習も含めて現状を説明させていただきたいと思っております。別添の資料をご覧ください。

(別添資料に基づき、状況を説明)

I 児童生徒に関する状況

「児童生徒の健康状況について」

・出席状況について

1名は入学当初から出席しておりませんが、その他は、時々病気や精神的な加減で欠席する事もありますが、各校で適切な対応を行っており、現在は長期欠席者はおり

ません。

- 町 長) 長期欠席とはどのくらいの期間を言うのでしょうか。
- 教育長) 文科省では30日以上としてあります。本町での欠席者はそこまでは長くなく、10日程度の欠席です。スクールカウンセラーやソーシャルワーカーなどに対処してもらったりしながら、現在は登校しております。

- ・いじめに関して

特に大きな問題は上がっていません。教育相談等を行いながら対処しています。小学校の時に心配な学年もありましたが、中学校になり文化祭での状況を見てましても、和気藹々とそれぞれ仕事を分担しながら活動していましたので、小学校の時の状況は改善されているように見受けられました。

- ・配慮を要する児童生徒について

町から学級支援員を小学校に4名、中学校に3名配置していただいています。実際芦北管内だけでも100人以上の特別支援の子ども達がおります。津奈木町では現在、小学校に5名、中学校が4名の特別支援学級の子どもがおりますが、それ以外にも気になる子ども達が沢山おります。実際は養育手帳を持っていながら、普通学級に入っているという子どももおりますので、そのような所も今後見ていかなければならないと思っています。

- ・運動・体力について

これに関しては、駅伝大会など先ほどお話があったとおりです。

「児童生徒の学力の状況について」

今年度の全国学力状況調査は、震災の影響で全国一斉には出来ておりませんが、後日実施しており、全国と比較しました。その結果、小学校におきましては、国語算数共に県の平均をクリアしております。中学校の場合は国語の知識の部分がちょっと県の平均より落ちておりますが、国語の活用と数学の知識と活用については全国平均をクリアしております。その他12月に県で実施している試験もありますが、その結果を見ましても、英語なども県平均を上回っております。

先日の学習発表会や文化祭を見ましても、発表力・自己表現力は付いてきており成長が見られました。学力には、このような発表力も無いとだめだと思えます。

「児童生徒を取り巻く学校の教育活動について」

小学校、中学校、幼稚園の研究テーマは資料に書いてあるとおりです。このようなテーマを掲げて取り組んでおります。

- ・学校の取組について

小中学校共に、少人数指導を行っております。算数と数学については学級を2つ～3つに分けて少人数で授業を行っております。英語についても同じように行っておりますし、さらにALTも付いておりますので、さらに厚く対応しています。

教育課程の特例校として小学校の英語活動について取り組んでおります。現在の学習指導要領では5・6年生のみが外国語活動を行うこととなっておりますが、特例

として文科省の指定を受けて、5・6年生は70時間、週2時間、3・4年生は週1時間、1・2年生は年間に15時間を取り外国語活動を行っております。その分総合的学習の時間を減らして調整しております。

小学校では高学年において社会・理科の専科にも取り組んでおります。これは、授業を学級担任が行うのではなく、選任の教師が行うものです。

I C T活用による教育ですが、町からの予算の支援を受けて現在小学校も中学校もタブレットや電子黒板、実物投影機などを使って授業を行っています。

その事例として、熊本県のI C T活用事例集の中で津奈木小学校の活動も紹介されております。

「学校の教育環境について」

施設設備については、大規模改修も行っていただき、その環境整備の中でI C T整備も行なってもらっています。しかしながら、まだまだ学校の情報化など進めなければなりませんので、今後は学校の校務を効率的に行うためのシステムについてもお願いしようと考えております。

その他、小学校が全児童224名、中学校が全校生徒119名です。その中小学校は特別支援学級が2クラスあり児童が5名おります。中学校は特別支援学級が2クラスあり4人の生徒がおりますが、先ほど申しましたように、ここに入っていない子ども達の中に配慮が必要な子ども達がおりまして、その子ども達を見てもらうのが学級支援員であります。

職員も津奈木小学校は庁務も含め24名、中学校が23名でおりまして、その中で産休育休の方が2名おられるので講師の先生が小学校に3名、中学校が2名、その他にも心の教室相談員が1名おられます。幼稚園については現在園児が15名で、園長が非常勤、教諭が本採用1名、嘱託員2名、事務が嘱託1名の全5名で園児15名を見ております。

教育委員会には他に給食センターがあり、所長は教育課長が兼務し栄養職員6は県費職員で、嘱託の調理員が6名、給食車運転手1名、事務1名、それとスクールバスが2名、以上の職員がおります。

II 生涯学習に関する状況

「小学校部活動の社会体育化へ向けてについて」

小学校部活動の社会体育化を進めなければなりません。現在小学校には、野球部、剣道部、ミニバスケット部、陸上部とありますが、その内の野球部を今年度社会体育としました。来年度はミニバスケット部と剣道部を、陸上部については指導者の目途もつきましたので、30年度までには社会体育化を行う予定です。

社会体育では先ほどいろんな問題も挙げられましたが、つなぎジュニア（バレーボール）とサッカー、野球が別にあります。それらとは理念が違っておりますので、別枠で考えなければなりません。それらの社会体育枠と間を繋ぐのが、津奈木運動

します隊という組織を作っておりますので、これをカバーする考え方が「地域総合型スポーツ」という枠組みでこれを入れて、その中で「運動します隊」が活動し子どもから大人までスポーツを楽しめるようにしていきたいと考えています。それにはまた予算も伴っていくと思われまます。

「子どもたちの健全育成へ向けた取組について」

1つ目はつなぎ遊びの学校・B&G海洋クラブがあります。参加者は小学校4年生から中学校3年生までがおりまして、小学生男子5人、女子4人、中学生は男子4人女子5人が現在入っております。

その他、読書表彰を毎年5月に行っております。これは町の図書館の本を何冊読んだかというものです。これを含めまして、読書活動を進めていかなければならないと考えています。そのためには読書活動を推進する人を配置していただくとありがたいと考えております。そうする事により国語力ももっと上がって行くのではないかと考えております。

その他にも水泳教室も開いており盛況であります。また、陸上教室も県の補助を受けて12月に2回行う予定です。

2つ目に青少年健全育成会議が以前は有ったが現在無い状態ですので整理して設置する必要があります。

「地域住民啓発のための取組について」

- ・町民講座の場合は4年間を期限として、自主講座に移して行く事としております。
- ・あけぼの大学については、平国、赤崎、津奈木で実施しております。
- ・社会教育委員の活用としては、研修には参加しますが、その活用が課題となっております。

○町長）社会教育委員は何人いるのか。

○教育長）5～6人だったでしょうか

○教育課長）もう少し多かったと思います。（後日確認：h28年度11名）

○教育長）研修の成果も自分達の活動の中だけに留まっているので、活用に向けて検討が必要であります。

その他、スポーツ推進委員、以前は体育指導員と言われていた委員ですが、この方達は小学校部活動の社会体育化でも動いていただいておりますが、この方達の活用も考えていかなければなりません。

研修会の実施については、現在県の事業とタイアップしてサテライト教室を実施しています。人権について昨日2回目の研修を行いまして、地震がおきた時の人権について話していただきました、1回目も評判が良く、あと1回12月に開催予定です。このような形で色々な研修会を開催しておりますが、参加者が同じ方ばかりという事が問題であります。また、他にもPTAの育成も行っていこうと考えております。

以上が、教育委員会の現状を説明いたしました。

- 町 長) 他の委員さんから補足は無いでしょうか。
- 町 長) 大体うまく行っているように思います。
 気になるのは、支援が必要な方達です。学級支援員の方達が、面倒を見ているということですが、その他にも気になる生徒が多少いるということですね。それから、学校の取り組みの中で、少人数指導がありますが、その分け方は理解度で分けているのか、又は単に人数を2つに分けているのか。
- 教育長) ある程度は理解度で分けております。本人が選べるようにしておりますので、人数は半数ではない場合もあります。
 理解度で分けておりますが、学習指導要領で内容は決まっておりますので、同じ単元でも設問の出し方を変えるなど、教員が工夫しながら行っております。
- 町 長) この分ける事に対して、差別ではないかと言う人もいるかと思いますが、区別は良いと思いますので、より理解しやすいように分けていると言うことを説明できるようにしておいていただきたい。
- 教育長) 時々は出入りしても良いというような柔軟性も持たせております。
- 町 長) 少人数指導には、国語は入っていないのですか。
- 教育長) 入っておりません。学力差がつきやすい科目について行っております。これは県に申請して、承認を得た所に職員を1名追加で県から配置していただいております。
- 町 長) 子ども健全育成で、つなぎ遊びの学校とB&G海洋クラブとありますが、役場にも資格を持った職員がおり指導も出来ると思いますが、海洋クラブ独自の活動は当初からあまり無いのではないかと思います。
- 教育長) 現在も同じような感じですが。夏休み期間中が主で、その他は稲刈り体験であったり、山登りをおこなっております。
- 町 長) いじめについては無いということですね。
- 教育長) 小さいものは分かりませんが、大きく深刻もので、我々が関与しなければいけないものはありません。
- 町 長) 家庭での虐待とかは耳にはしていないのでしょうか。
- 教育長) 以前はありましたが、今は注意しております。子どもたちの様子を見るときに、着替えのとき等注意しております。
- 町 長) 今は親が大人になっていなくて、邪魔になって子どもを殺すなどのニュースも良く聞くので、注意が必要だと思います。津奈木の場合は地域全体で見守っているところがあるので、隣近所でそういうことがあれば耳に入ってくると思いますので、大丈夫かと思いますが。
- 町 長) 今年の津奈木小学校の入学者は何名でしたか。
- 教育長) 今年は30数名で、来年も30名程度です。出入りが色々ありますが、今現在は1年生29名となっております。これが35名になると2クラスになります。

今の2年生は36名おりますが、特別支援学級に2名おりますので、通常学級34名で1クラスとなっております。3年生からは40名学級になります。

- 町 長) 今の現況説明について、何かありませんか。
- 教育長) 教育委員会で、最近イノシシがよく出没しており、登下校の安全を脅かしているのではないかという話が出ました。
- 町 長) 昼間はあまり出てこないと思いますが、夕方から夜にかけて心配なので、特に通学路には外灯をつけなければいけないでしょうね。禁猟区内では鉄砲が撃てないので、罠で捕獲するしかないでしょう。
- 福田委員) 夕方早く日が暮れ5時を過ぎると薄暗くなって、部活動の帰りなどが心配という事で、親の送り迎えが盛んになっているということで、ガソリン代が係るといふ話を聞いている。
- 教育長) 津奈木中学校では陸上が盛んになっておりますし、クロスカントリーコースみたいな所が雄島辺りに出来ないかという要望があがっております。そういう所があると、人も集まってくるのではないかということです。
- 町 長) 遊歩道等を少し整備すれば良いのかもしれませんが、今では少し狭いですね。
- 教育長) 中学校の裏は今度伐採してありますが、そこを走らせるということは出来ないでしょうか。
- 町 長) もう少し平坦なら良いが、傾斜が急過ぎて危ないと思います。浮石もあるので、今度700万程かけて、金網を張り、コンクリートを吹き付けて崩れないように対処します。上の方の浮石やひび割れた石は全部割って出し、その後に紅葉などを植えますので、それが大きくなれば、候補にはなると思いますが。
- 町 長) ICTの授業も見ましたが、黒板を書いたり消したりする時間の短縮や理科の授業でも、子どもたちの状況を見て廻らなくても画面で誰が出来てないか確認できるという点で的確に把握し指導も出来るので、理科や英語教育では役に立つのではないかと思います。
- 教育長) タブレットについても、それで検索が出来るので、子ども達も好奇心を持って取り組めるし、情報交換も出来てお互いに討論しながら学習できるようになっています。
- 町 長) スマートフォンを自宅での学習中や夜間遅くに使ったのトラブルなども心配されますが。
- 教育課長) 県の方でチェックしてもらっております。大きなトラブルはありませんが、問題が無いという事はありません。自分の情報をネット上に発信していたりした場合には学校に連絡が来るようになっております。
今、学校には、自分の画像を送らないようにという通知がきております。
- 林田委員) ICTの機器類は進歩が早いと思いますが、何年毎かに買い替えを行うのでしょうか。それともリースでしょうか。
- 町 長) リースです。機器類は日進月歩進化しますので、リースのほうが有利です。

問題は、授業の中で活用するためにどのようなソフトを用いるかだと思います。

- 教育長) ソフトを自分で構築する事は難しいので、既製の良いソフト購入して使用するということにしております。
ソフトというのはパソコンのソフトに限らず、紙ベースの教材等もそれに当たります。特に英語等も、視覚的に分かりやすい教材を整備していきたいと考えています。
- 教育長) 津奈木町では年間1回分の英検受験費用を補助していますので、最低1回は英検を受ける機会を与えております。今1番進んでいる子どもで高校生のレベルである準2級まで取っています。今後は小学生から受けるような体制も取れればと考えております。
- 教育長) 幼稚園の今後について、どのようにしていくべきなのかと考えております。
山下先生が退職した後は、職員が誰もいなくなります。
- 町 長) 幼稚園と保育園を一緒にした、認定子ども園のような物にするのかどうかだと思います。
- 福田委員) 住民課と教育委員会とで研究チームを作る時期に来ているのかな、という話は委員の中でしております。
- 教育課長) その件につきましては、11月29日か30日に住民課と教育委員会の職員で検討会を開き、どういう方向にもっていくのが良いのかを話し合いたいと思います。
- 町 長) 現在は、新幹線や高速道路が出来て、保育園の立地する環境が良く無くなってきています。それに比べ、幼稚園のある箇所は敷地もあり運動後援もそばにあるので、立地条件的には適していると思います。将来的には文科省と厚労省を合体させたものを作るかどうかということになります。
子どもが生まれないと、幼稚園も保育園も無くなってしまいます。
- 教育長) 3歳児がバラ組みとして入ってきますが、正規の職員が2年半後には退職でいなくなるということを考えたときに、保護者に対してある程度の見通しを伝えておかなければいけないと考えております。
- 総務課長) 2年くらいは経過措置が必要だと思います。
- 町 長) 保護者の方には幼稚園と保育園の違いを理解していないのではないかと思います。預かってもらえる時間が違うだけで同じような事を教えてもらっているという感じだと思います。幼稚園は余って保育園が足りないという状況なので、政府としては二つを一緒にしたらちょうど良くなるという考えから子ども園の考えが出たのでしょうか、縦割りの組織でなかなか上手くいかない状況だと思います。
- 町 長) 他には無いですか。
- 雑賀委員) 先ほどのクロスカントリーのコースも学校の先生からの要望だったのですが、駅伝を頑張っている子ども達もおりますし、学校の授業でも使えますし、料金を取ってでも使えるのではないかという事もあり、コースを整備してもらえないかということでした。
- 町 長) 考えては見ますが、クロスカントリーにあうような安全な場所というのが見

当たらないですね。

○ 町 長) 他には無いですか。

○ 教育長) 今年度にもう 1 回会議を設けていただきたいと思います。

3 学期になりますと、次の年度の教育方針を教育委員会でかけまして、それをこの会議で大筋を承認していただき、細かいところの枝葉を付けて、各学校に来年度はこのような教育をやってほしいという方針を毎年出しております。

それを 2 月に開いていただき、3 月の後半には学校に伝えたいと思いますのでよろしくをお願いします。

○ 町 長) 通学路の外灯については、現在町設置しておりますが、その外灯の LED 化を進めて行きたいと考えております。

○ 総務課長) 皆様熱心なご討議ありがとうございました。これをもちまして第 1 回津奈木町総合教育会議を終了します。

午後 4 時 2 0 分、閉会を宣告